

T

omozo

Free Paper
2011
12/9
vol.15

特集
早稲田
街巡り
第1弾
貴志祐介
有川浩
作
家
賞
特
別
企
画
「
メ
ン
ト
」
大
賞

生協読書推進
委員会 友蔵



特集

book review ①

早稲田青空古本祭

.....

4

科学的とはどういう意味か／森博嗣著

日本の幽霊―能・歌舞伎・落語―／権藤芳一他著

特集

book review ②

有川浩ブックレビュー

.....

6

阪急電車

塩の街

図書館戦争

二〇〇三年に「塩の街 wish on my precious」で第十回電撃ゲーム小説大賞を受賞し、二〇〇四年に同作でデビューを果たす。インタビューで自らの作品を「大人向けのライトノベル」と語る。

特集

book review ③

貴志祐介ブックレビュー

.....

16

青の炎

硝子のハンマー

クリムゾンの迷宮

黒い家

一九八六年にハヤカワ・SFコンテストに短編「凍った嘴」で佳作入選し、その後執筆活動を始める。人間の心理的な恐怖を描くホラー作品を多数手がけるが、上記「青の炎」や「硝子のハンマー」などのミステリーやSFも手がける。

○早稲田青空古本祭

このお祭りは、日本三大古本店街の一つである早稲田通りの全古書店が年に一度一箇所に集まり開かれる古本市である。ホームページより購入してください。



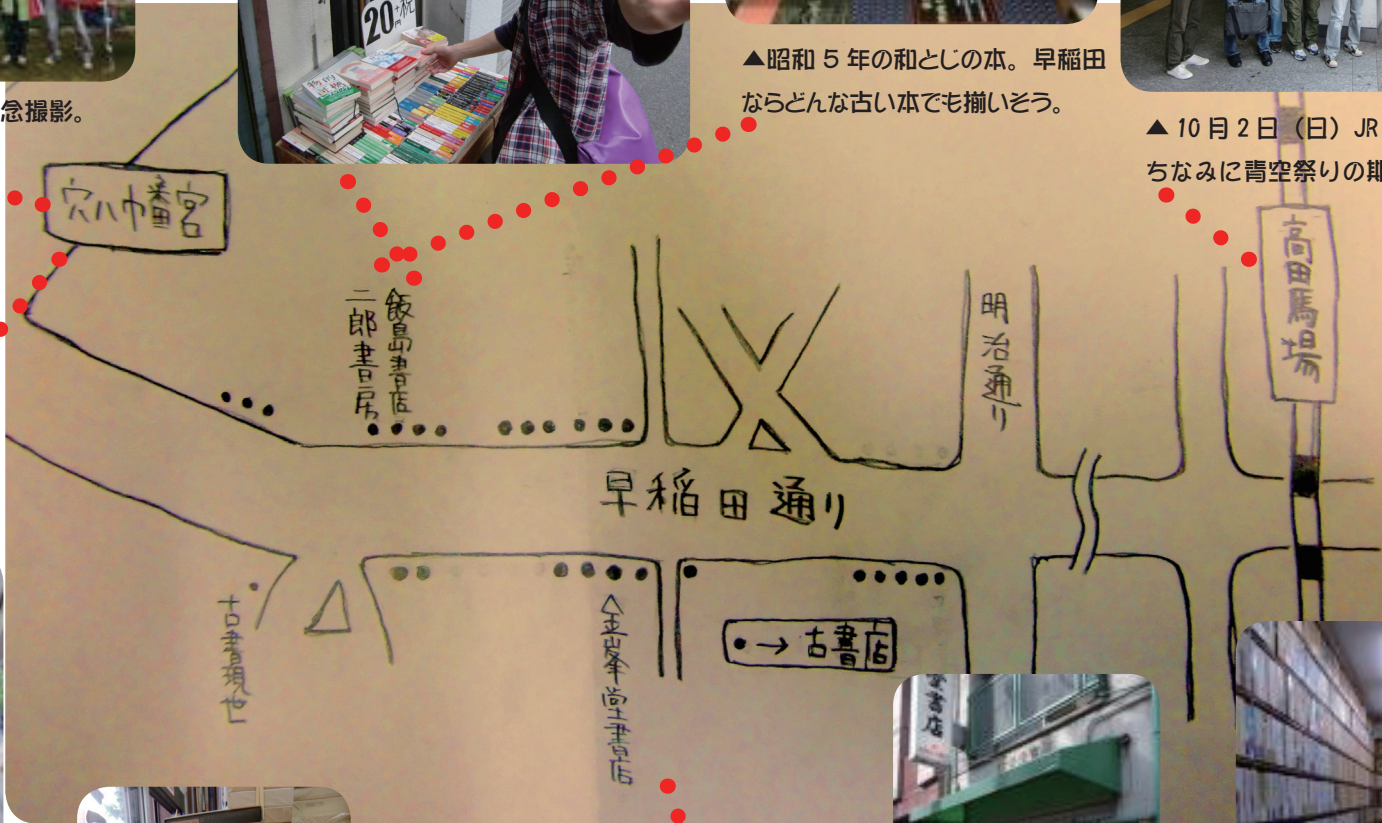
▲最後に神社の入口で記念撮影。



▲昭和5年の和とじの本。早稲田ならどんな古い本でも揃いそう。



▲10月2日(日)JR高田馬場駅に集合。ちなみに青空祭りの期間は1週間。



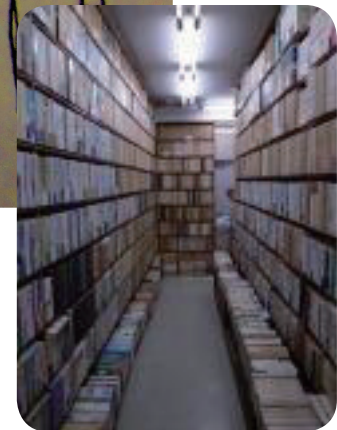
▲青空祭りは穴八幡宮の境内でテントをはって行われている。各お店が何冊か本を持ち寄りブースに分かれて売られている。



▲▼上は20円の文庫本の前でピースサイン。左の写真はドストエフスキー全集38000円。早稲田には高い本から安い本まで揃っている。



▲歴史を感じるたたずまい。早稲田通りには約40店舗の古書店が並ぶ。



▲本に囲まると圧巻。店内にて。

「難しいことは専門家に任せておけば良い」という発想は間違いではないし、先端技術に関しては確かに専門家でないとは理解できない部分も存在します。また、科学を知らない人がいることで科学を知っている人が得をするだけなら僕ら理系にとっても喜ばしいことでは

堤があれば防げる、安全だと思っ
ていませんか？ はい、あなたは
今死にました。津波は高波とは違
います。打ち寄せる波とは全く性
質を異にする物理現象なのです。
そして、違うなら解答を早く教え
ろよと思っっているあなた。その思
考形態が文系なのです。現象を理
解しようとせず解答だけを求める
ことの危険性を知ってください。
わからないことは調べる力を身に
つけてください。

す。ですが、日本は民主国家です。
多数派の意見が正しいものとして
社会に押し寄せます。科学を否定
する人が多数派となっている時、
どうして国民の安全が確保できる
のでしょうか。私たちの身の回り
はほぼすべて科学で成り立ってい
ます。ケータイから規定量を超え
る放射線が出て禁じられたらどう
なりますか。筆者が伝えたいのは
この種の危惧です。科学を楽しま
なくてもいい。好きになる必要は
ない。しかし、科学を理解しよう
とする姿勢を取ろうとしてください。
い。



新書：197 ページ

出版社：幻冬舎

ISBN-10：4344982207

ISBN-13：978-4344982208

発売日：2011/06



拝啓 文系の皆様へ

あなた方は損をしていますよ。

敬具

科学と聞いてどんな印象を受
けるだろうか。数式を見た
らどう思うだろうか。負の感情を
抱く人もいるだろう。この本はそ
んな人に警鐘を鳴らす本だ。いま
でも、そしてこれから、遍在す
る科学推奨書は科学がいかに有益
なもので、どんなに面白いものな
のかを説く本がほとんどだろう。
そんな本をいわゆる文系の人が手
に取るかと言われたら、取るわけ
がないのである。そのために科学
を知る人と知らない人に差が、溝
が、生まれている。「科学は知ら
ない、けれど科学は自分の日常に
常在する、そんな生活が安全なも
のになるのだろうか。」と、森博
嗣は主張する。
ところで、文系と理系って何が
違うのだろうか。そもそも二種類で

区分することは無理なのではない
だろうか。例えば、経済学部は理
系に傾いている。しかし、その区
分はある箇所においては可能であ
る。それは、理系は読書を嫌う人
の集まりではないが、文系は数学
を筆頭に科学を嫌う集まりである
という点にほかならない。もう一
点を指摘するとしたら、文系は理
系を疎む傾向があるということであ
ろうか。私は所属が工学部であ
ることを告げた瞬間に忌避の目を
向けられたこともあるくらいだ。
この科学を嫌う傾向、文系だから
と科学から逃避する傾向、ここに
問題が生じるのである。いいです
か、科学を知らないだけでは身を
滅ぼしますよ。
津波が何かを知っていますか？
3mの高さの津波なら5mの防波

要には事欠かない。
 残念なことに、こうした気風薄
 まる現代においては、こうした芸
 能事というのとはなかなかとつき



恨めし をかし 日本の芸能

視点から語った講演を著作化した
 のがこの本だ。

例えば、能、更に言えば夢幻能
 は、それが発達した中世が乱世、
 人の死が身近にある環境であつた
 故もあつてか、「死者の世界から
 ものを見る」というのがその構造
 の根本にある。であるからして幽
 霊を主役にした作品が数多く存在
 しているし、歌舞伎にしる落語に
 しる、それが庶民の間で持て囃さ
 れた江戸の時代には、超自然的な
 現象（つまりは幽霊に結びつけら
 れるような、当時の人知を超えた
 現象）なんてものが溢れていたわ
 けであるから、話のネタやその需
 要には事欠かない。

草

木も眠る丑三つ時。脇を流
 れる川のせせらぎと、どこ
 からか聞こえてくる犬の遠吠え。
 己の吐く息使いや地を蹴るその足
 音が、ほんのり灯る薄明かりの先
 の暗闇へと吸い込まれていく。風
 に鳴る柳の声に思わず肩を震わせ
 れば、頬を撫でる生ぬるい空気が
 一層濃く纏わりついた。不気味だ。
 自然と速まる歩調、握りしめられ
 る手。ふと雲の切れ間から淡く月
 が姿を現す。自然と向いたその視
 線の先には…。

黒く長い髪が櫛を通されぬまま
 に乱れ、白衣を覆う。その額には
 白紙三角の天冠。ひたと向けられ
 る目から逃れるように見やれば、
 ぼんやりと宙に浮かび、その存在
 を認識できない下半身。腰を抜か
 し、ただへたり込むしかない。こ

ちらをゆつくりと振り返ると、ひ
 じを曲げて手先を垂れ、首を傾げ
 た女性はやがて重々しく口を開
 く。「恨めしや。」

古今東西、数多といる幽霊妖怪
 お化けの類。その性別容貌、はた
 また現れる場所もこの世に遺す思
 いも様々なれど、日本を代表する
 幽霊（日本型幽霊）といえはこう
 いった体ではなからうか。そし
 て、こうした我々おなじみの定型
 化した（ステレオタイプな）幽霊
 像は、古来からの演劇や文芸の中
 から生み出されたものだと言われ
 ている。さてさて幽霊話といえは
 『雨月物語』『牡丹灯籠』『四谷怪談』
 …挙げていけばキリがないが、こ
 うした芸能に描き出されてきた日
 本人の幽霊観について、能・歌舞
 伎・落語の権威たちがそれぞれの

にくい存在である。がしかし、本
 著は元が講演ということもあつて
 理解しやすいため、少し深いとこ
 ろまで、しかし時にはおもしろお
 かしくその世界を覗きみるには
 うってつけの入門書である。是非
 これを片手に芸能鑑賞と洒落こん
 でいただきたい。

ただし、流石は早稲田古本祭り
 にて入手した一冊。一九八三年の
 発行につき現在は絶版品切れと、
 一般の本屋さんでは手に入らない
 ので要注意。ネットでワンクリッ
 ク注文もできるがせつかくの機
 会、あなたもぶらり古書店へと足
 を運んで探してみてはいかがだろ
 うか。

単行本：262 ページ
 出版社：大阪書籍
 ISBN-10：4754810244
 ISBN-13：978-4754810245
 発売日：1983/01

日本の幽霊
 一能・歌舞伎・落語

合わせただけの乗客たちが一話一話の主人公。彼らがそれぞれの人生にリンクして、たった数分の間に起こる恋のはじまり、恋の相談、蘇る家族の思い出：すべては同じ車内に乗り合わせている乗客から素敵な物語が紡がれます。

電車の中で人間観察をしていると、音楽も聞かず、本も読まず、携帯もいじらず、ぼーっとしている人を見かけます。彼らは何を考えているのでしょうか。彼氏に振られた？上司に怒鳴られ悔し涙を堪えている？ちよっと気になってしまいます。『阪急電車』ではそういういた人たちにふと声をかけて出合いが始まるんですが、なんと素晴らしいコミユ力でしょう！自分には絶対に無理です。ウォークマンを聞きながら本を読んで自分

ご乗車ありがとうございます



皆さんは何線の沿線に住んでいるのでしょうか。国大だと相鉄線？それとも横浜市営地下鉄ブルーライン？僕は東急東横線沿線に住んでいます。

関東には様々な路線がありますね。友蔵メンバーを見てみると、JR武蔵野線、JR埼京線、西武新宿線、東急田園都市線、東急大井町線沿線に住んでいるようです。僕の場合だと、横浜に引っ越してきから名古屋、特に名古屋市営地下鉄桜通線が無性に恋しくなってくるのです。ああ、あのうるさいモーター音の電車が懐かしい！そんなことを日頃ずっと思っていた今年の夏、名古屋へ帰省したとき三省堂書店で平積みされていたこの『阪急電車』が目に入って足を止めてしまいました。えんじ色

で書かれたタイトル。実は、これは阪急電車の塗料の色でもある「マルーン色」です。「こげ茶」・「小豆色」・「チョコレート色」とも表現できます。ともかく、阪急マルーン色に反応してしまいました。

『阪急電車』では阪急今津線というローカル路線を取り上げています。沿線には住宅地が広がり、大阪・神戸方面への通勤・通学路線となつて、十駅を十五分で走ります。関東で言えば主要駅・蒲田から多摩川を結ぶ、東急多摩川線みたいなものではないでしょうか。東急多摩川線のローカル具合はオススメです。かわいい三両電車で多摩川に行ってみてはいかがでしょう？本題に戻ると、この『阪急電車』のストーリーは偶然乗り

の世界に閉じこもってしまいました。そこで少しの勇氣とコミユ力があれば、『阪急電車』の乗客のような人生を歩んで行くと思うんだがなあ。

この作品は二〇一一年に映画化され、関西地方では地元が舞台の映画ということでロングランヒットとなったそうです。ちなみに、映画では本の一場面の「隣に座った女性が、よく行く図書館で見かけるあの人だった」という描写はなくなっています。少し残念。さあさあ、皆さんも乗り合わせた乗客に思いを寄せてみてはどうでしょうか？



文庫：269 ページ
 出版社：幻冬舎
 ISBN-10：4344415132
 ISBN-13：978-4344415133
 発売日：2010/08

に敵として現れる。その中でも序盤に出てくるある青年の物語は塩一色の世界観と静かなやり取りが相まってとても綺麗だ。また全体的に静かな雰囲気がある本作だがちゃんと盛り上がるシーンもあれば恋愛シーンもあるのでマンネリ感はなく、読みやすい。個人的には是非とも映像化してほしい作品だ。

ところで、本作は有川先生の記念すべきデビュー作であり電撃ゲーム小説大賞受賞作品なのだが、様々な事情により後に大幅な改稿を経てハードカバー版が出版された異色の作品だ。ハードカバー版では本編の後日談である「塩の街 その後」が収録されている（下の角川文庫版はハードカバーと同じ内容）。しかし個人的

にはハードカバー版だけでなく初期の電撃文庫版も推したい。なぜなら本編では電撃文庫版で収録されていた重要なシーンが削除されているからだ。もちろんハードカバー版だけでも十分違和感なく読み進められるのだが、削除されてしまったシーンは私が一番好きなシーンであり、臨場感溢れる名シーンであるため是非とも電撃文庫版もチェックしていただきたい。ハードカバー版と比較してみるとのも面白いだろう。ちなみに本作と「海の底」、「空の中」の三作をまとめて「自衛隊三部作」と呼ばれているので他の二作品も冬休みに是非。



文庫：444 ページ
出版社：角川書店

ISBN-10：4043898037

ISBN-13：978-4043898039

発売日：2010/01

これ映像化しようよ。



有川先生の作品には恋愛要素が多く、巷では「恋愛小説家」として有名である。かの有名な「図書館戦争」シリーズは特に恋愛要素が濃く、「別冊」に至っては読んでいるこちらが気恥ずかしくなるくらいに恋愛している。一言で言うならリア充爆発しろという事だ。（まあ詳しい内容は本を買ってチェックしてください。）その一方で有川先生はSF作品も得意としており、初期作品にはSFもが多い。そこで今回は有川先生が得意とする恋愛要素とSF要素を両方網羅した「自衛隊三部作」の中から、「塩の街」を紹介したい。まずは大まかな世界観とあらすじから。

物語は突如東京湾沖に巨大な塩化ナトリウム、つまり塩の結晶が

落下したことから始まる。塩の結晶はそれを視認した人間を塩に変える「塩害」という病をもたらした。この感染症によって首都圏の都市機能は崩壊してしまふ。親を塩害で亡くした少女真奈は暴徒に襲われたところを元航空自衛隊員の秋庭に助けられ、これが縁となり行動を共にするようになる。やがては世界の運命をかけた壮大な作戦に巻き込まれることになるのだが、そこは本編を読んでからのお楽しみということで。

本作の魅力は何といっても文面から想像される美しい光景と人々のやりとりだろう。（と個人的には思っているのだがもしかしたら絵師という職業柄なのかもしれない。）真奈と秋庭が出会う人々は様々な事情を抱えて時に味方、時

る。従って、おのずと図書館で働く人たちは防衛員と図書館員（司書員）に分けられている。この本の主人公笠原郁は女子で初めて図書館防衛員希望として就職した変わり種であり、また研修中に彼女が集めた特殊部隊に配属されることが決まるなどして物語が進んでいく。この物語（図書館シリーズ）は彼女の防衛員としての成長を描いた物語であり、また彼女の教官との恋愛要素も物語に加わっている。

この本の光るところはこの小説の設定がとても詳細に作られているところだ。全国の本が取り押さえられる原因となった国の法律の改正から（それまでは現実世界と同じだったようだ）、それらの法律を取り締まる組織の成立、また組織と図書館との対立に至るまでの歴史が詳細に作りこまれていて、ただの恋愛小説では終わらず、それらが読み進むごとに明かされていくのを追っていくのも楽しみの一つである。また、情報公開の権利についても考えさせられるところが多い。登場人物の喋り方は現代風だが、文章もわかりやすくさちつとしていて、詳細に作りこまれた複雑な設定の中で、現代の若者たちが様々な行動を繰り返していく様子は、まるで映画を見ているように気分がいい。



文庫：398 ページ
 出版社：角川書店
 ISBN-10：4043898053
 ISBN-13：978-4043898053
 発売日：2011/04



念願の図書館に採用されて、
 私は今——毎日軍事訓練に
 励んでいます。

今回はテーマが有川浩さんというところで、有川浩の代表作と言われる「図書館戦争シリーズ」の第一作目を読んでみた。この本は異色の図書館の物語：しかも恋愛小説で、いわゆるライトノベルの一種である。

図書館の物語と言っても単純な司書の話ではない。図書館戦争と

由に読めないのだ。国が定める本だけしか書店では販売されない（厳密に言うとう違うのだが）ようになってきている。しかし出版される本を自由に読める場所、それがこの世界の図書館なのだ。この本は、そこに新しく就職することに

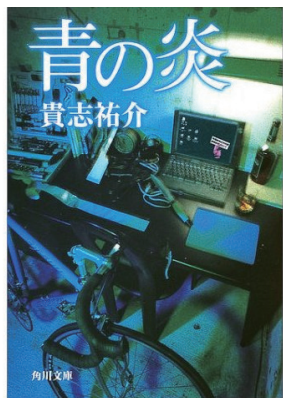
なった笠原郁と彼女を取り囲む人たちの物語である。

それではなぜ「戦争」とつくのかというと、この時代の図書館はなんと自衛隊となっており、独自に自衛隊よりも優れた軍隊を持つ血なまぐさいものなので。その図書館は国直属の本を取り締まる部隊と常に抗争状態となっており、簡単に言えば、図書館というのは本を貸し出すだけでなく、本を（武力を使って）守ることもする機関となっているのである。

る。興味を持った方にはぜひおすす
 めしたい。

か。
 一人の人の命を奪うという行為によって失われるもの。それは、被害者の命や罪を犯した人の未来だけではない。犯人の家族もまた社会的制裁を受け、未来をも奪われてしまうかもしれない。
 本書は確かに犯人への共感性は高いが、犯罪そのものを肯定する作品では決してない。共感するからこそ、次第に追い詰められていく秀一の姿に胸を痛め、彼の周囲の人たちの優しさにこれ以上ない切なさを覚え、そして全てが上手くいくことなどありえない世の中の難しさに読者は思わず涙する。
 結局、どんな理由があったとしても、犯罪行為——殺人をして幸せを手に入れることなど、不可能なのだ。そんな当たり前のことを

改めて思う。
 タイトルにもなっている「青の炎」。赤よりも静かではあるが高温の青い炎は、徐々に秀一自身をも焼き尽くしていく。クライマックスで明かされる一つの小さな真実は、読者にどうしようもないやりきれなさを抱かせる。どうしてこうなってしまったのだろう。どこかに救いは、何か他に道はなかったのだろうか……。
 完全犯罪に挑む少年の孤独な戦いの物語。その結末は、彼が愛する家族のために下した決断は、あまりに哀しい。本書のキャッチコピーに以下の言葉がある。「こんなにもせつない殺人者がかつていたのだろうか」。この問いに対する私の答えは、初めてこの本と出会ったときからずっと変わらな



文庫：495 ページ
 出版社：角川書店
 ISBN-10：4041979064
 ISBN-13：978-4041979068
 発売日：2002/10

完全犯罪に挑む殺人者の、 孤独で切ない戦い。



17歳の少年・榊森秀一が望んだもの。それはただ、家族の幸せだった。法律も警察も、自分たちを守ってはくれない。だから彼は立ち上がる。家族の平和な生活を取り戻すために——。
 今回紹介する「青の炎」は、「黒い家」や「悪の教典」などで知られる貴志祐介によって一九九九年に発表された。二〇〇三年には嵐の二宮和也を主演に映画化もされた、著者の代表作の一つだ。
 本書は通常のミステリーとは異なり、事件の犯人が最初に明らかになり、その犯人が犯行に至る過程や追い詰められていく過程を描く「倒叙^{とうじょ}」という形式で書かれている。ミステリーでは本来描かれることが少ない犯人側からの物語。どうして彼は一線を超えることになつてしまったのか。秀一が置かれている状況、葛藤、苦悩、すべてが細かく描かれているがゆえに、気がついたときには「捕まっただけほしくない」と思ってしまった。「犯人」にこんなにも簡単に感情移入できる小説はあまりない。著者の素晴らしい文章力が繊細な心理描写に表れている本書は、倒叙形式の魅力を存分に楽しめる傑作と言えるだろう。
 高校生としての日常、どこからどう見ても青春と言われる日々と、一人で全てを背負い犯罪へと進んでいく苦しみ。秀一という少年の内面を描いている人間ドラマでもあるこの小説を通して考えさせられるのは、罪を犯すとはどういうことか、ということだと私は思う。そして、その代償は何なの

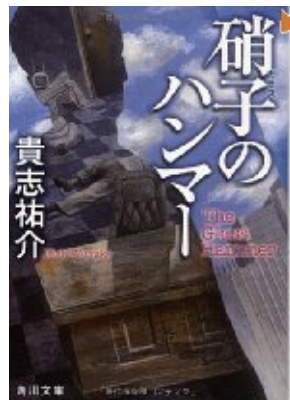
「いや、いない」だ。

検証して不可能であることが分かったら再び別の方法を考える、というものである。

青砥は時として突拍子もない、だけどもありえないと一笑に付すことができないような仮説を考えつき、榎本は、防犯技術について詳しい彼だからこそ気づくことのできるような防犯の盲点をつくトリックを思いついていく。彼女の推理はとりあえず思いついたら検証してみようというスタンスであり、対照に榎本の推理は注目すべき点を列挙して、まずはこの条件をくぐり抜ける方法はないだろうか、もしないのであれば次にこの条件はどうだろうか、というようなスタンスである。彼女は弁護士であるからこそ文系的な発想をし、榎本は職業柄、機械に強い

ところからいかにも理系的な処理をしていく。この書き分け方からも作者の技量の高さが伺える。

さて、この小説は件のおり推理小説であるのだが、私はこの小説を本格ミステリと呼ぶのに少し抵抗を覚える。本格ミステリとは、問題編が終わったときに類推するためのすべての証拠が出揃っていることを一般的に言う。しかしこの小説では最後のヒントが出てくるのが第一章の本当に終わりの部分であり、そこまで物語の核心を直接的に言ってしまう部分があるのである。読み終わってから、そうだったのかと思わされる演出にもなっているとも言えるが、私はそれは思えなかった。皆さんがどう捉えるかはわか



文庫：604 ページ
 出版社：角川書店
 ISBN-10：4041979072
 ISBN-13：978-4041979075
 発売日：2007/10



弁護士と防犯コンサルタントの異色コンビが挑む密室殺人事件

入口には警備員室、エレベーターには暗証番号、廊下には監視カメラ、窓には防弾ガラス。そんなセキュリティ完備の介護サービス株式会社の社長室で白昼堂々殺人事件が起きた。一部屋挟んで社長室と繋がった専務室にいた専務は逮捕されるが、彼は強く犯行を否定する。彼の弁護士となった青砥純子は彼の無実を証明するため、ある防犯ショップの店長であり、防犯コンサルタントとしての肩書きをもつ榎本径のもとを訪ねるのであった。

本作は二部からなるミステリ小説であり、第一章では『ハウダニット』に、第二章では『フイダニット』、『ワイダニット』に焦点をあてている。

第一章は青砥純子と榎本径の目

線が交互に移って展開していき、最後に榎本が犯人のトリックに気づくところで章が終わる。そして第二章ではある男の目線で物語は進み、なぜ犯行を犯すに至ったのかについて書かれている。貴志さんの作品は、登場人物の心理描写がとても丁寧に書かれていて読者が感情移入しやすい作風だ。そういう意味では、この作品の第二章にこそ作者らしさというものがあるんだんに盛り込まれていると言っても過言ではないだろう。

この文章、文章の深さという面では第二章の方が優れているが、読み物としての見どころ、面白さでいったら第一章が優れていると思う。

第一章の構図は、二人が推理して、その推理が正しいかどうかを

りませんが、読んでみてください。

を脱出するデスゲーム。死んだ者はもちろんゲームオーバー。

この本には面白い記述がありません。ゲームの主催者からの「サバイバルアイテムを求める者は東へ、護身用アイテムを求める者は西へ食料を求める者は南へ、情報を求める者は北へ進め——」という言葉。各自それぞれの所に向かうのですが、主人公は北へ向かいます。彼は情報を求めたのです。生きるか死ぬかの世界で、なぜそれを選ぶのか？ どうしてもっと有効なものを探めないのか？ 自分ならどこに向かうか……。自分なら、そうだな、西へ向かうと思います。自分なら情報で迫りくる恐怖に立ち向かうことはできません。情報化社会で生き残っていくためには（ある意味サバイバル？）この考



藤木はこの世のものとは思えない異様な光景のなかで目覚めた。

この本を読んで、というよりも貴志祐介の本を読んで書評を書くにあたって思うに「駄文ですみません」。

貴志祐介の伏線の張り方、読者をひきつけるエンターテイメントとしての書き方、人間の描写（残酷な人間の物が特に）を見ると、自分で文章を書くのが恥ずかしくなってくるぐらい完成度が高いものになっている。ごめんね、駄文で。これに加え、独特のホラーの世界観によりこの本は評価が高く、非常に読み応えのある本だと思う。ぜひ、読んでみてほしい。

そして読書会を開こう!!（友蔵では本を読みその本に関して感想や自分の考えなどをお互いに話し合う読書会というものを定期的に開催しております。ほかの人がど

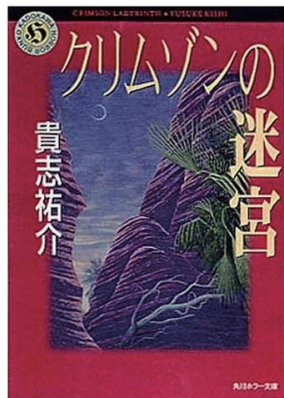
ういう風にその作品を読み取ったかなど一人では知りえないことが分かり、とても楽しいです。まだ委員会内で内輪的に行っているだけですが、もっとオープンにいろんな人と行っていきたくないと考えています。興味がある方はぜひぜひ参加を考えてみてください。月・金の昼休みの集会にお気軽に足をお運びください。

簡単にこの本のあらすじを話すと、迷宮（真紅（クリムゾン色）の山に囲まれた見たこともない世界）に集められた数人の男女は、ここから抜け出すためにゲームをやらされる。彼らにはここがどこなのか、なぜ自分ここにいるのかもまったくわからない。襲い来るモンスターから逃れ、生きて迷宮

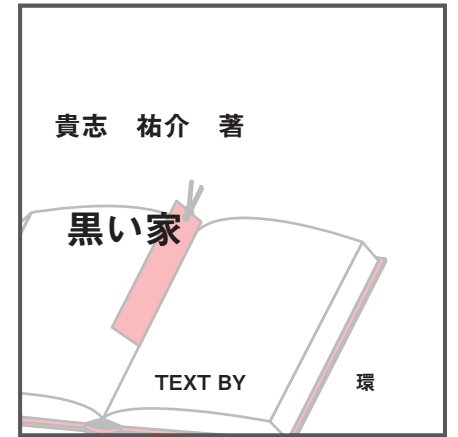
え方はいけないのでしょうか？

情報を選択した主人公は自分にとっては奇妙にうつります。また残酷にうつります。残酷で、老獪でまわり恐怖をもたらすのですが、このような人が存在しかねない、もしかしたら自分がその状況なら同じことを……。ということと感じずにはいられません。自分の暗部を見ているような気がしてなりません。

この作品は世界の設定、迫りくる死の危険も確かに怖いのですが、何より怖いのはそこ、読み手に訴えかけてくる自分への恐怖でした。



文庫：393 ページ
 出版社：角川書店
 ISBN-10：404197903X
 ISBN-13：978-4041979037
 発売日：1999/04



本当に怖いのは
「平坦で空っぽ」。

世界に引き込まれてすっかりやられてしまったわけだ。

物語は生命保険会社の支払い査定主任を務める若槻の視点で進む。ある日の不審な保険金支払い申請から若槻は「黒い家」を訪れることになり、そこで子供の首吊り死体を発見する。悪夢はここから始まり、会社や恋人を巻き込み、じわじわと全てを飲み込んでいく。

私がこの本に惹きつけられたのは、——これは読んだ人の多くが感じると思うが——妙にリアリティがあるせいだろう。私たちが生きる世界では「悪意」があれば相手はどうにでもできる。逆にそのような悪意にひとたび狙われたらひとたまりもない。みなが知っている。そしてその悪意をとどめているも

私 はあまりホラー小説というものを読まない。理由は単純に怖いからだ。だから貴志祐介という名前は聞いたことがあったが恥ずかしながら読んだことはなかった。まあ、「恥ずかしながら」といっても、そもそも読んだことのない作家さんばかりなのだから今更恥ずかしいも何もないか。むしろ二十歳過ぎでホラーは怖いから読めません、なんて言っている方が恥ずかしいか、などと自尊心を天秤にかけてみる。恥ずかしついでに言うと、この本を手にした経緯だって、書評誌のテーマに選ばれていたのをなんとなく覚えて、たまたま青と黄色の看板の古本屋で目の前の棚にあったというだけだ。(まあ、「だけ」とはいっても、こういうのが寡読な私に

のの一つにモラルがある。この物語ではモラル崩壊とともに噴き出す「悪意」が保険金犯罪を通して描かれ、さらにその先の段階として、人間性を欠き、ただ欲求を満たすために障害を排除するという本能的な殺戮を行なう殺人鬼が現れる。モラルどころか、もはや「悪意」さえ持ちえない。(若槻は昆虫学を専攻していたという設定で、殺戮を昆虫の捕食に例える場面があるのだが、まさにそれそのものである。)この物語にリアリティを感じるのには、私たちが社会性の動物として、社会の維持に必要なモラルに、現実的な危機が訪れていることを察知しているからかもしれない。

はじめに私事を書き過ぎたこと
で何とも中途半端な書評になった

とっては本を仕入れる絶好の機会なのだが。

ベッドに座り、本を手取る。障子にブランコの少女と干された作業着の影が映る、穏やかでない表紙。スケキヨのマスクが表紙にデザインされた「犬神家の一族」を思い出し、ホラー小説は部屋に置いておきたくないなとつくづく思う。気になるのでカバーは外してしまった。

あまり気乗りしなかったが、読み始めると二日とかわからず読み終えた。展開が早く、ページをめくる手を途中で止めるのは不可能だった。そして殺人場面の凄惨な描写はその後二、三日にわたって私の精神に悪い影響を及ぼし続けた。戸締りが気になったり、悪い夢を見たり。簡単にいえば、本の

が、あんまり内容について書き過ぎると読む気を失くしてしまうから、という配慮であったと良い方に受け止めてほしい。私のような怖がりな人に読むことを勧めたい。

文庫：392 ページ
出版社：新潮社
ISBN-10：4041979021
ISBN-13：978-4041979020
発売日：1998/12



読書マラソンに参加しよう

読書マラソンとは

読書マラソンは、大学生生活の4年間で本を100冊以上読むことを目標に、全国の大学生協で行われている読書推進活動です。横浜国大生協においてもその活動は行われています。活動内容はいたってシンプル。本を読んで感想を書く。これだけです。

では読書マラソンへの参加方法を紹介しましょう。特に難しいことはありません。

① 生協店舗にあるエントリーシートに必要事項を記入して、書籍部の店員さんを持つ

エントリーカードの募集をして、最も素晴らしいコメントを決めよう、というものです。各賞には豪華な景品が設けられています。今年度も全国から多数の応募がありました。

そんな全国読書マラソンコメント大賞にあわせて、横浜国大生協でも「国大読書マラソンコメント大賞」が開催されました。多くの応募があり、そのどれもが素晴らしいコメントの数々でした。その中から厳正な審査の結果、最優秀

ていってください。手続きがすんだらエントリー完了です。

② 本を読みましょう。ただしコミックスや雑誌、教科書は対象外になっています。

③ コメントカード（ポップカード）に本の感想を書いて、書籍部の店員さんに提出しましょう。コメントカードは書籍部の店員さんに頼めば貰えます。

では参加するとどんな特典があるのでしょうか。実はコメントカードを10枚提出するごとに、横浜国大生協でつかえる図書

賞他が決定され、それぞれ景品が授与されました。

読書マラソン交流会

また、関東圏の読書関連のサークルが集まって、読書マラソン交流会という企画も行われました。会場に作家の森美登美彦さんを招待するなど、大規模な企画となりました。

読書マラソンの活動は年々活発となってきました。ぜひ参加し

券500円分がプレゼントされます。本を読んで感想を書くだけで図書券がもらえるなんて、とってもお得な企画ですね。



コメントカード

コメント大賞

さらに年に1回、「全国読書マラソンコメント大賞」が開催されています。全国の大学生協がコメ

て、読書をさらに楽しみましょう。皆さんもぜひ参加してください。



次号は 2012年 1月下旬 発行予定

尚、予定は断り無く変更される場合がございます。

友蔵とは

「学生にもっと読書に親しんでもらおう」という理念のもとに生協と協力して創られた書評サークルです。年数回の書評誌発行や生協で行っている読書マラソンのお手伝いをしたりと積極的な活動をしています。普段はお昼に集まってのお喋りがメインなようなユルユルな感じでやっています。興味をもたれた方は、月・金の昼休みに教育7号館3階302号室あたりで集まっているのでお気軽にお越し下さい。お待ちしております。



Tomozo

Vol.15

編集長 フリーケイスケ

最近一段と冷え込んできましたね。今回はTomozo初編集となります。出来栄えはどうだったでしょうか？今回はいつもよりTomozoの発行が遅かった、とお怒りの方もおられるかも知れませんがそれは全て私の責任です。ゴメンナサイ。

発行日 2011年12月8日

発行 生協読書推進委員会
友蔵

生協読書推進委員会
友蔵
毎週月・金曜日 昼休み
教育7号館3階

302号室あたりにて活動中

あとがき

眩きが7,600 RTされた。(正弦 真)

1枚…2枚…3枚…うらめしや(レポート)。(笙)

が、が、がんばる!!! (カルロス)

秋の割合は読書:食欲:芸術:勉強:運動 = 2:4:3:1:0
な時雨屋でした。(時雨屋)

某カウントダウンライブに落選。幸せな年越し計画が……orz (銀魚)

もうしませんから(締切破りを)。(マトン)

読書会参加者募集中!! (中村安里)

今回は慣れないホラーに挑戦しました。(環)



大学生協

大学生協インターネットサービスは早く、安く、便利です!

書籍インターネットサービス

http://honya.univ.coop/
生協ならインターネットでも
和書 **10%OFF!**

CD/DVDもご利用できます 組合員証の提示にご協力ください

携帯はこちらから

オンライン上で和書が検索・注文できます!

日版「HonyaClub.com」との提携で、早く確実なサービスを実現しています。
 ※「HonyaClub.com」のポイントサービスは生協では適用されません。
 ※宅配の場合は生協割引が適用されませんので定価販売になります。(送料負担あり)
 「本やタウン」をご利用されていた皆様は、そのままのID・パスワードで利用できます。
 新規に利用希望の方は、登録をお願いします。

- 文庫、コミックから専門書まで注文できます。
- リアルタイムに在庫が表示されます。
- 在庫品は2~3日で店舗に到着します。

生協店舗で受け取れます。

- ご所属の大学生協店舗をご指定下さい。

メールで状況をご連絡します。

- 生協店舗に入荷した時点で「入荷案内メール」を送信いたします。
- 「ご注文履歴」はマイページから確認ができます。

オンライン書店だから
24時間営業
パソコン携帯からご注文可



お問い合わせは生協の店舗まで

【個人情報の扱いについて】 お申し込みの際の個人情報は、ご本人との連絡、生協「HonyaClub.com」(日版)からの案内に利用させていただきます。また大学生協取引先との商品・サービス手配に利用させていただきます。